

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2004-534533(P2004-534533A)

【公表日】平成 16 年 11 月 18 日 (2004.11.18)

【年通号数】公開・登録公報 2004-045

【出願番号】特願 2003-500199(P2003-500199)

【国際特許分類第 7 版】

C 1 2 N 15/09

A 6 1 K 38/22

A 6 1 K 39/395

A 6 1 K 47/48

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 1/00

A 6 1 P 3/00

A 6 1 P 3/02

A 6 1 P 5/00

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 13/00

A 6 1 P 13/08

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 19/04

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 31/00

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 33/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/04

A 6 1 P 37/06

A 6 1 P 39/02

A 6 1 P 41/00

A 6 1 P 43/00

C 0 7 K 7/06

C 0 7 K 7/08

C 0 7 K 14/47

C 0 7 K 19/00

// C 0 7 K 16/00

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 39/395 C

A 6 1 K 47/48

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 1/00

A 6 1 P 3/00

A 6 1 P 3/02

A 6 1 P 5/00

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P	9/10	1 0 1
A 6 1 P	13/00	
A 6 1 P	13/08	
A 6 1 P	17/02	
A 6 1 P	19/04	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	31/00	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	33/00	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	37/04	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	39/02	
A 6 1 P	41/00	
A 6 1 P	43/00	1 0 1
A 6 1 P	43/00	1 0 5
C 0 7 K	7/06	
C 0 7 K	7/08	
C 0 7 K	14/47	
C 0 7 K	19/00	
A 6 1 K	37/24	
C 0 7 K	16/00	

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月24日(2005.3.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

神経系タンパク質の種類のアミノ酸配列の一部に該当する少なくとも一つのアミノ酸配列を含むNTPペプチド。

【請求項2】

神経系タンパク質AD7C-NTPのアミノ酸配列の一部に該当する少なくとも一つのアミノ酸配列を含むNTPペプチド。

【請求項3】

SEQ ID NO. 10～52から成る群より選択される少なくとも一つのアミノ酸配列を含むNTPペプチド。

【請求項4】

請求項1～3のいずれか1項に記載の少なくとも一つのアミノ酸配列およびそのための担体を含む組成物。

【請求項5】

請求項1～3のいずれか1項に記載のNTPペプチドのホモログ、誘導体、フラグメントまたは変異体を含むペプチド。

【請求項6】

請求項1～3のいずれか1項に記載のNTPペプチドのアミノ酸配列に基づく逆Dオーダーのアミノ酸を含むペプチド。

【請求項 7】

ペプチドの 3' 末端かまたは 5' 末端に隣接する 1 ~ 25 個の追加のアミノ酸で修飾された請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の NTP ペプチドを含むペプチド。

【請求項 8】

互いに融合している請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の少なくとも二つの NTP ペプチドを含むペプチド。

【請求項 9】

請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の NTP ペプチドの少なくとも二つの反復を含むペプチド。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の NTP ペプチドの模擬体。

【請求項 11】

抗体、抗体のフラグメントまたは抗体様分子に融合した請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の NTP ペプチドを含むペプチド。

【請求項 12】

請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の NTP ペプチドに該当するアミノ酸配列をエンコードしている核酸。

【請求項 13】

請求項 12 に記載の 1 個またはそれを超える核酸およびそのための薬学的に許容しうる担体を含む組成物。

【請求項 14】

哺乳動物の細胞の除去または破壊を必要とする状態を処置するための医薬組成物であって、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の NTP ペプチドを含んでなる、前記医薬組成物。

【請求項 15】

経口、皮下、皮内、鼻腔内、静脈内、筋肉内、脊髄内、鼻腔内、腫瘍内、局所および経皮からなる群より選択される方法によって投与する、請求項 14 に記載の医薬組成物。

【請求項 16】

外科的切除、移植 (transplantation)、移植片接合 (grafting)、化学療法、免疫療法、ワクチン接種、熱または電気剥離、寒冷療法、レーザー治療、光線療法、遺伝子治療および放射線からなる群より選択される少なくとも一つの処置での哺乳動物の処置前、中または後に、哺乳動物に投与する、請求項 14 に記載の医薬組成物。

【請求項 17】

状態が、肺、乳房、胃、脾臓、前立腺、膀胱、骨、卵巣、皮膚、腎、洞、結腸、腸、胃、直腸、食道、心臓、脾臓、唾液腺、血液、脳およびその被膜、脊髄およびその被膜、筋肉、結合組織、副腎、上皮小体、甲状腺、子宮、精巣、下垂体、生殖器、肝、胆嚢、眼、耳、鼻、咽喉、扁桃、口、およびリンパ節およびリンパ系から成る群より選択される組織の良性または悪性腫瘍である、請求項 14 に記載の医薬組成物。

【請求項 18】

状態が、肺、乳房、胃、脾臓、前立腺、膀胱、骨、卵巣、皮膚、腎、洞、結腸、腸、胃、直腸、食道、心臓、脾臓、唾液腺、血液、脳およびその被膜、脊髄およびその被膜、筋肉、結合組織、副腎、上皮小体、甲状腺、子宮、精巣、下垂体、生殖器、肝、胆嚢、眼、耳、鼻、咽喉、扁桃、口、およびリンパ節およびリンパ系から成る群より選択される組織の過形成、肥大または過成長である、請求項 14 に記載の医薬組成物。

【請求項 19】

状態が、肺、乳房、胃、脾臓、前立腺、膀胱、骨、卵巣、皮膚、腎、洞、結腸、腸、胃、直腸、食道、心臓、脾臓、唾液腺、血液、脳およびその被膜、脊髄およびその被膜、筋肉、結合組織、副腎、上皮小体、甲状腺、子宮、精巣、下垂体、生殖器、肝、胆嚢、眼、耳、鼻、咽喉、扁桃、口、およびリンパ節およびリンパ系から成る群より選択される、ウイルス、細菌または寄生生物によって変化した組織である、請求項 14 に記載の医薬組成

物。

【請求項 2 0】

状態が、肺、乳房、胃、脾臓、前立腺、膀胱、骨、卵巣、皮膚、腎、洞、結腸、腸、胃、直腸、食道、心臓、脾臓、唾液腺、血液、脳およびその被膜、脊髄およびその被膜、筋肉、結合組織、副腎、上皮小体、甲状腺、子宮、精巣、下垂体、生殖器、肝、胆嚢、眼、耳、鼻、咽喉、扁桃、口、およびリンパ節およびリンパ系から成る群より選択される組織の奇形である、請求項 1 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 1】

状態が、扁桃肥大である請求項 1 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 2】

状態が、前立腺過形成である請求項 1 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 3】

状態が、組織への美容修正である請求項 1 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 4】

細胞が、皮膚、眼、耳、鼻、咽喉、口、筋肉、結合組織、体毛および乳房から成る群より選択される組織の細胞である、請求項 1 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 5】

状態が、血管性疾患である請求項 1 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 6】

状態が、痔疾である請求項 1 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 7】

状態が、拡張蛇行静脈である請求項 1 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 8】

血管性疾患が、アテローム性動脈硬化症または動脈硬化症である請求項 2 5 に記載の医薬組成物。

【請求項 2 9】

状態が、炎症性疾患、自己免疫疾患、代謝性疾患、遺伝性 / 遺伝的疾患、外傷性疾患、物理的損傷、栄養欠乏性疾患、感染症、アミロイド症、線維症、蓄積症、先天性奇形、酵素欠乏性疾患、被毒 (poisoning)、中毒 (intoxication)、環境性疾患、放射線疾患、内分泌性疾患、変性疾患および機械的疾患から成る群の一つまたはそれを超えるものより選択される、請求項 1 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 3 0】

NTP ペプチドが、抗体、抗体フラグメントおよび抗体様結合性分子から成る群より選択される分子であって、腫瘍または他の標的への結合について、他の細胞への結合より高い親和性を有する分子に抱合されている、連結しているまたは結合している、請求項 1 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 3 1】

NTP ペプチドが、ペプチド、模擬体または核酸、および抗体、抗体フラグメントおよび抗体様結合性分子から成る群より選択される分子であって、腫瘍または他の標的への結合について、他の細胞への結合より高い親和性を有する分子から成る単一の新しいクローン化されたりコンビナント分子の一部である、請求項 1 4 に記載の医薬組成物。